待望の高速道路

インターチエンジは川向か

国土開発幹線自動車道につながる北海道横断自動車道は小樽～札幌～千歳～夕張～帯広～足寄間を最短コースで結ぶ四車線の高速ハイウェイで、最高時速百二十キロで札幌～足寄間は二時間そこそこで突つ走るうえに、足寄を一大インターチエンジとしてここから分岐して釧路と北見へそれぞれ四十分程度で直行することになり、道開発局では路線計画の調査をすすめていますが、いよいよ足寄は道内においての重要な交通基地として浮かびあがるわけで道開発調整部では『足寄は将来二、三十万人の都市になる』との見方をしているほどです。

というのは、本州の例をみても、高速道路のインターチエンジ周辺は急速に発展していることで、才一次的に輸送の大型化と高速、高回転にともなつてトレーラーヤードやトラックターミナルが設けられ、ついで工場や企業の進出となり、さらに工場などの集積にともなつて流通、配送、加工情報などの機能があつまつてくるそうで、インター周辺の地価はまたたくまに高騰するので企業は生産性の高い精密機械工業とか知識集約型産業が立地するといわれています。

特に足寄の場合は沿線の各拠点におかれる通常のインターとは違つて高速道路の交叉点に位置していることで、札樽と釧路、北見をつなぐ高速、大量輸送の流通基地となるので、全道の町村のなかで急速に飛躍的発展は間違いないマチとして注目されています。

問題のインターチエンジは中矢あたりとみられていましたが、地形が高台のためトンネルが必要で電源開発の地下埋設管があつて支障をきたすのと、足寄市街との関係から川向地区になりそうで、ここを基地にして中足寄あたりで一方は稲牛から白糠をへて釧路へ、一方は大誉地～陸別をへて北見へ向うのではないかとみられています。

観光企業が進出

足寄町の将来性を見越してか、すでに東芽登の山林原野四四〇㌶（本別町開協所有地）を水戸市の皆楽園観光チェーンが一億一千万円で買収して事業準備の測量をすすめているといわれ和歌山市の野上電鉄不動産から小坂山一帯の町有地一、〇〇〇㌶の買収を町に申し入れており、札幌市の共立信販グループでは四百戸の別荘用地あつせんを町に申し出ています。

新柄婚礼衣裳
きものと帯は
㊐久保呉服店
足寄町　T二一四八

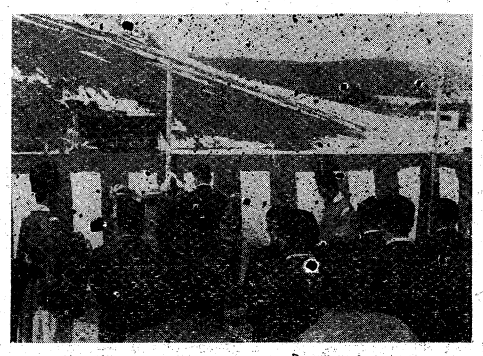
野上電鉄では「アシヨロハイランド」として小坂山を中心にゴルフ場、スキー場、キャンプ場、レジャーセンター、分譲別荘地などを計画しており、町としてはこの地帯は牧野や植林に適しないところから、運輸省に「青少年旅行村」の指定を申請したものの、事業が一千万円以下の小規模なのであきらめた経過もあり融雪をまつて同社の現地調査の立ち入りは認めて事業計画や資金面などを確かめたうえで交渉に応ずることにしていますが、議会側も産業委員会の所管事項として調査にあたることになりました。

足寄町役場の人事

足寄町では四月一日付でつぎのように人事異動を発令しました。

▲建設課長小泉鶴夫（病院事務長）▲病院事務長喜多一男（民生課長）▲民生課長松平京（建設課長）▲樹芸樹木園地係長兼務原守郎（林務課長）▲管理係長兼務猪狩豊成（建設課長補佐）▲建設課都市計画係長内海竜男（企画課同）▲同都市施設係長兼務浜名澄治（土木主任技師）▲同土木第二係長後藤軍治（技師）▲農政課土地改良係長中西茂雄（農政係）▲教委出向高取弘（農政課管理係長）▲農委出向氏家智彦（農政課）

グリーンパーク着工へ



足寄高原観光株式会社による里見ガ丘公園での総合レジャーセンター「グリーンパーク」の着工地鎮祭は二十九日に現地で黒川社長の鍬入れ各界代表の玉串奉典で、建設に着手

農業オンリーでは・・・

○：町の基幹産業は農畜林ということで商工業や観光サービス業などは刺身のツマのように取り扱われてきたものの、足寄の場合は立地上、農業オンリーの地場資源型産業から都市型技術集約型産業へも力を入れていかなければならないマチに変りつつあること。

○：日本一の広面積と観光資源と交通の要衝をフルに活かしての学園都市ー高速道路ー大型空港などのデッカイ構想が目の前に。

○：研究学園五万人都市の位置決定はこれからですが七、五〇〇㌶もの国有地スツポリは足寄ならではー道では『ひからびた学園都市でなく夜になれば赤チョウチンもあるマチも考えてほしい』と足寄へイキな注文もあるほどで、町民として二次、三次産業面で都市入りの人々も必要なこと。

○：これにともなつて阿寒線鉄道も浮びあがつてきたことで、ことしの新線建設予算が百億円以上もふえたので、白糠線のラワンまでの着工に期待。

○：高速道路に占める足寄の位置については地理上法律で定められたもので、ここを道東における交通体系の中心拠点と位置ずけられた以上は、道東に設けようとしている大型国際空港についても併せて考えるべきで、誘致を議決した学園都市の条件ともなつている以上はこれをさけるわけにはいかないこと。

○：それやこれや足寄の場合は基幹産業の農業の振興をはかればよいというわけにいかず、逆に農業構造改善事業による規模拡大は中小農家の追い出しで過疎化をすすめ、大型化によつて農家負債は重荷となるばかりで、これが絶対に安全だという作物の保証がないかぎりは、本州農家の大半がそうであるようにむしろ小程模経営の兼業農家の方が安全でもあり、工場や企業が進出してくるとなれば地元労働力が必要となつてくるので、これまでの産業政策を転換させなければという意見も出ていること。

読者の室（投書歓迎）

人物の開発が基本です

累積赤字一億円に及ばんとする陸別町立病院もやつと対策の時期来たかに見えたが、無責任な圧力団体やら町民感情で腰を一年おろしてしまつた。

町民の声を聞くと、この責任を松崎院長一人の欠点にして語られるが、果して町理事者は有能な人材を人材として使うことの出来る力があるだろうか。

前の吉田場長にしても、林業指導員にしても去つてから惜しんでいる。

有能な人物ほど一匹オオカミに孤立させる傾向が強いのではないか、弱兵を責める前に勇将であるかどうかを責めるべきである、町を発展させには何よりも人物の開発が基本であることを忘れてはならない。

（陸別町共栄　カネラン民芸社　鈴木　勲）

離町にさいして

長い間皆様には御世話に成り御礼も出来ず申訳御座居ませノ。この度私、温根湯に転出致しました。

祖父市四郎が明治三十五年、代々続いた名主の家より分家して足寄町に官使として入植し、ラワン駅逓取扱人、足寄村第一期村議として、足寄村開発、教育開発の先駆者として開いた大切な土地でしたが、今度私の農地が国道用地、鉄道予定地、町道予定地として測量が入り、今後私も農業が出来なくなり、又昭和十九年の戦傷で農業が出来ないと思い、子供達も最終学校も終り皆就職しましたので温根湯の天然記念物のつつじ山下に小さな家を建てて暮そうと思つて居りますので、花見時にはお立寄り下さい。

（奥足寄　佐々木源一）

カメラ　八ミリ　写真材料
上野カメラ堂
上野復興
足寄駅通り　T二五一二

㊐自動車　新津はなや
足寄町西三区　T二六二六
霊きゅう車　葬儀仏具一式　花輪　生花

大自然のなかの人工美
ーいで湯のふるさとー
観光と保養の
芽登温泉
足寄町芽登　T二八五五

不動産についての御相談は
調査　売買　あつせん　管理　分譲
代行　登記　損害保険　代理まで
同和、興和火災保険代理店
北海道免許十26
足寄不動産事務所
足寄町本通り三丁目　T二三四五

家具と建材
信用は最大のサービス
技術と納期を誇る！
家具　建具　製造販売
住宅内装に新建材を！
佐藤家具建材店
足寄駅前　電話二二二一番

技術に生きる！
ーあらゆる電気器具ー
テレビ　ラジオ　レコード　ステレオ
有限会社
ミネ・デンキ
足寄町三笠通り　T　2642

音もスタイルも家庭向
1台で4台まで使える
新しい電話！

1部屋1台時代の新しい電話
ホームテレホンRonRon（ロンロン）

◎呼出しは軽快なチヤイム　ロンロンお部屋まで明るくなるソフトな音。音量調節も自由。
◎1本で4台まで使えます　台所、居間、書斎、こども部屋などお好きな部屋に1台ずつ。
◎切替えはカンタン　他の部屋に電話をまわすときはボタンをポン！呼びに行く必要はなし。
◎お部屋どうしの連絡も自由　「お早よう」「まだお勉強？」内線呼出しボタンでどうぞ
◎家中を一度に呼べます　家族全員には一斉呼出しボタンで。ミニスピーカーが働きます。
◎各電話のプライバシーも完全　よそとのお話しは割込みスイッチで他の部屋に聞かれず

◎料金
◆一セット（電話機三台）
債券八万円　工事費八千円
使用料（月額一、〇〇〇円）
◆電話機四台以上場合
債券一〇万円　工事費一万円
使用料（月額一、四五〇円）

お問い合せは　足寄電報電話局（電話2000番）へどうぞ